

PCSA アクションレポート（理事会）

令和 1 年 11 月版

11 月通常理事会

- 開催日時 令和 1 年 11 月 28 日（木） 11 時 30 分～13 時
- 開催場所 TKP ガーデンシティ PREMIUM 神保町「フォレスト」
- 出席者 理事 8 名、幹部 4 名、正会員オブザーバー 1 名、合計 13 名
- <代表理事>
- 加藤 英則 夢コーポレーション株式会社 代表取締役社長
- <副代表理事>
- 大石 明德 株式会社ニラク 取締役
- 合田 康広 株式会社合田観光商事 常務取締役
- 金本 朝樹 株式会社アメニティーズ 代表取締役社長
- <理事>
- 藤本 達司 株式会社ダイナム 代表取締役
- 福井 宏彰 株式会社加賀屋 代表取締役社長
- 金光 淳用 株式会社ヒカリシステム 代表取締役社長
- 河本 成佑 株式会社晋陽 代表取締役社長
- <監事>
- 川辺 悦史 株式会社セルノ 取締役会長
- 宮村 伸輔 株式会社エルゴジャパン 常務取締役
- <モデレーター>
- 佐藤 公平 株式会社ダイナム 取締役会長
- <アドバイザー>
- 牛島 憲明 牛島憲明事務所 代表
- <正会員オブザーバー>
- 荒田 政雄 夢コーポレーション株式会社

第 1 号審議議案 「仲御徒町会議 開催報告および今後の進め方」審議【承認】

当件について、同会議を 2019 年 11 月 12 日（木）に PCSA 会議室で開催した事につき事務局より報告、同会議を継続する事が承認された。

第 2 号審議議案 「同友会との今後の交流内容」審議

当件について事務局より説明があった。

<起案理由>

PCSA、同友会の協働に向け、お互いの団体を理解する。

<交流内容（案）>

1) 理事会・忘年会への相互参加

内容： 12 月開催の両団体の理事会にオブザーバー参加し、その後の忘年会へ参加する。

目的： お互いの会の様子を実際に参加する事により、理解を深める。

対象： 理事・幹部（執行部中心に 5～6 名を想定）

日時：

【同友会】

令和元年 12 月 18 日（水）

15 時 ～15 時 20 分 賛助会員プレゼン （オーラム B2F）

15 時 20 分～17 時 30 分 拡大理事会 （オーラム B2F）

17 時 45 分～ 年末大忘年会 （オーラム B1F）

【PCSA】

令和元年 12 月 19 日（木）

16 時 ～17 時 30 分 拡大理事会(TKP 秋葉原カンファレンスセンター7 階)

17 時 45 分～ 忘年会（「クラフトビール タップ」ヨドバシ AKIBA8 階）

* 理事会前に遊技法研究会あり（14 時 45 分～15 時 45 分、クローズド？）

2) PCSA・同友会 協議会開催

内容： 両団体の協働に向け意見交換を実施する。

目的： 協働に際し、協働への想い、方向性、活動内容について両団体で確認する。

対象： 両団体 全理事・幹部

日時： 2020 年 1 月 28 日（火） 午後 2 時～3 時 30 分（予定）

場所： 未定（「21 世紀会賀詞交歓会」会場近隣の貸会議室（新橋））

* なお、同日 17 時 45 分より 21 世紀会賀詞交歓会が開催されるため、この日の設定とした。

例年 16 時頃より 21 世紀会が開催されるため、その前の時間を協議会の時間とした。

<意見>

・12 月の PCSA 理事会に関しては、同友会メンバーの「お別れ会」があるため、1 月の PCSA 理事会でお呼びしたい。

<審議>

議長：まずは 1) 理事会・忘年会への相互参加について、実施しても良いか？

一同：異議なし。

議長：2) PCSA・同友会 協議会を来年 1 月 28 日に開催してもよいか？

一同：異議なし。

議長：それでは、事務局でそれぞれ案内をして欲しい。

第 3 号審議議案「PCSA 慶弔見舞金規程」改正【承認】

当件について事務局より説明があった。10 月の理事会において「PCSA 慶弔見舞金規程」について、延焼、損壊時だけでなく、店舗休業でも支給する事を明記するように指示を受けた。それを踏まえ改正案を作成した。

なお、台風 19 号で見舞金を支給した各社からお礼状が届いている。店舗の再開状況は、株式会社ニラクは本年 12 月中に再開予定。株式会社セントラル伸光は再開していない上に、対応を決めかねているとの事。株式会社つばめエイジェンシーは 11 月 22 日に再開したとの事。

「PCSA 慶弔見舞金規程 改正（案）」

第十条（災害見舞金）

【現行】

1. 会員が火災、風水害及び地震その他の不慮の災害により、店舗、社屋、居住する家屋等に損

害を受けた時は、原則として次の区分により、代表理事名で災害見舞金を支給する。

	火災・風水害・地震	見舞金
全焼・全壊	家屋倒壊・全焼等	100,000 円
半焼・半壊	屋根・壁の破損、焼失等	50,000 円
一部損失	屋根・壁・建具等の破損、焼失等	30,000 円

【改正案】

1. 会員が火災、風水害及び地震その他の不慮の災害により、店舗、社屋、居住する家屋等に損害を受けた時、又は休業した時は、原則として次の区分により、代表理事名で災害見舞金を支給する。

但し、区分（被害・休業）が異なっても重複した支給はせず、金額の高い方を支給する。

＜意見＞

特になし。

＜審議結果＞

議長：意見は特になしとの事で、原案の通り改正するという事でよいか。

一同：異議なし。

議長：規程は総会審議事項のため総会に送る。

第 4 号審議議案 「パチンコホール広告宣伝に関する共同研究について」審議【非承認】

当件について荒田 政雄 法律問題研究会リーダーより説明があった。

1. 目的

IR 推進の一連の過程において、2019 年 4 月に閣議決定された「ギャンブル等依存症対策推進基本計画」に、パチンコ事業者が取り組むべき依存症対策が盛り込まれ「広告宣伝の在り方」も大きく取り上げられております。その内容としては「新たな広告宣伝に関する指針作成」や「通年の普及活動の実施」、「青少年を含む一般向けの取組」などが含まれておりパチンコ産業における「広告宣伝」についても、その在り方が問われる状況になってきています。

これらにパチンコホールとして積極的に意見発信を行っていく為に、PCSA 法律問題研究会としては、今後のパチンコホールにおける「広告宣伝」の分析・研究を進めるとともに、同時に「広告宣伝」に関するパチンコホールが抱える課題の解消につながる取り組みを行っていきたいと考えております。

なお、本ツールについては、PCSA での単独ではなく、「広告宣伝」の問題をより大きな業界課題として捉え、「パチンコ業界の諸問題に積極的に関わりを持ち、広告に関して対応及び浸透させる」ことや「広告論理の理解向上と広告の信頼性の向上を目指す」ことを趣旨・目的に掲げる「一般社団法人（ぱちんこ広告協議会）」と連携し行いたいと考えております。

2. 取り組み

① 「ぱちんこ産業における広告宣伝に関する（研究）レポート」作成

- ・一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会と一般社団法人ぱちんこ広告協議会の連名により公開。
- ・パチンコ（ホール）における広告宣伝の歴史や経緯の取り纏めを行い、今後のパチンコホールの広告宣伝の在り方や方向性が議論できる 基礎資料を作る。
- ・日常営業においても、従業員の【教育ツール】としても使用可能なものとする。

（内容）

- ・【歴史経緯】「広告宣伝」に関する「過去～現在～未来」の取り纏め

※日常営業における注意点も記載

- ・【関連資料集積】「広告宣伝」に関する関連資料集積と一部解説
 - ・【資料集】地域別（都道府県別）広告宣伝規制状況（全国版：約 100 ページ）
- ②「ぱちんこ広告宣伝 サーチシステム～ 都道府県・地域別 実態 情報共有できるシステム」構築
- ・製作 ・ 管理 ・ 更新の主体は、一般社団法人ぱちんこ広告協議会。
 - ・都度更新される地域規制についてはホームページに掲載。
 - ・ホームページ掲載情報のフォーム、基本情報は PCSA 法律問題研究部会が主に 提供。

※上記、分析・研究を繰り返すことで、業界が抱える問題の 1 つである【広告宣伝】について、適切なあり方を発信していくと同時に地域の実態状況の確認共有ができることにより、ぱちんこホールの業務効率の向上も実現し、最終的にぱちんこがより社会に受け入れられ、更なる成長・発展することが出来る産業に繋げていくための一助としていく。

3. スケジュール（案）

- ・2019 年 11 月両協会の理事会で協議。
- ・2019 年 12 月～1 月 PCSA、PAA ホームページにてレポート公開
PAA が「ぱちんこ広告宣伝サーチシステム」公開、業界誌に向けてのプレスリリース発信

4. 費用・発行部数（案）

- ・レポート作成にかかる費用はなし。
- ・ウェブ製作・管理
- ・更新は一般社団法人ぱちんこ広告協議会（以降、PAA）が担当。

<意見>

- ・地域で対応が異なることも考慮すべき
- ・PCSA だけではなく他団体と仲間づくりをしっかりとさせた方が良い。
- ・広告は個別対応の案件が多い。是正するのは個別でしかできないと思われる。

<審議結果>

- 議長：慎重意見が多いようなので、今回は見送るという事で非承認としてよいか？
一同：異議なし。

第 5 号報告議案 「第 18 期中間決算」報告

当件について事務局より説明があった。

貸借対照表：資産の部は流動資産が 1574 万 5906 円、固定資産は 444 万 411 円、合計 2018 万 6317 円。負債の部 649 万 1899 円、純資産の部合計 2018 万 6317 円。負債 649 万 1899 円、純資産 1369 万 4418 円、負債及び純資産の合計は 2018 万 6317 円となる。

損益計算書：会費収入が 2258 万円、セミナー売上高 17 万 5000 円、合計 2275 万 5000 円。販売費及び一般管理費が 2804 万 5682 円。営業外収益が 13 万 9540 円。当期純損失額が 515 万 1130 円。

なお、18 期の通期見通しについて。各項目デコボコはあるが、大きなブレは無く、約 75 万円のプラスとなる予定。

<意見>

- ・75 万円のプラスで着地予定か？

> その通り。今期、役員功労金、引っ越し費用、銀座の家賃 2 か月分などで 800 万円かかっている。来期の活動、収入が同等であれば 800 万円のプラスになると予想する。

第 6 号報告議案「PCSA 懸賞アイデア・エッセイ開催」報告

当件について事務局より説明があった。11 月 1 日より「PCSA 懸賞アイデア・エッセイ」の募集を開始した。募集要項の主な変更点は昨年までの入社 3 年という枠を撤廃した事。会員、賛助会員、特別会員の従業員であればどなたでも応募できるようにした。

<募集要項（抜粋）>

■テーマ：パチンコ業界の夢、未来への提言！

～パチンコ業が成し遂げられること、社会に貢献できること～

■応募資格 ○ PCSA 正会員・賛助会員・特別会員企業 従業員（社員・パート）年齢不問

■賞金 ○ 最優秀賞 1 編 賞金 20 万円（賞状・記念品有）

○ 優秀賞 数編 賞金 10 万円（賞状・記念品有）

■期間・発表 ○ 応募期間 2019 年 11 月 1 日から 2020 年 2 月末日まで

審査委員長 横山和夫 氏 公認会計士・元東京理科大学教授

審査副委員長 斎木純一 氏 フジサンケイビジネスアイ 相談役

審査委員 PCSA 理事、PCSA アドバイザー、PCSA モデレーター

<意見>

・応募はきたか？ > まだ来ていない。

第 7 号報告議案「第 18 期第 2 回臨時社員総会・第 70 回公開経営勉強会」報告

当件について事務局よりスケジュール等の説明があった。

今回の参加者は非常に多く勉強会の出席者は 213 名を予定している。通常よりも 50～60 名は多い。外部からも内部からも増えている。会員外からも 66 名の方が参加予定。メール、FAX、WEB、県遊協など、どこを見て応募してきたかも一覧表に記載している。懇親会では、宮城県理事長、日拓、同友会なども参加されている。

<意見>

・勉強会で質疑応答はあるか？ > 予定している。

第 8 号報告議案「正会員 退会」報告

当件について事務局より説明があった。

正会員の千里丘観光会開発株式会社より退会届出が届いた。退会理由は次の通り。

「入会当初から 6 店舗に増店し、さらに増店を考え所属させていただいておりましたが、現在 3 店舗となり、この年末には休業する店舗もあり、退会への判断を致しました。長い間お世話になりありがとうございました」

<意見>

・正会員は何社になったのか。 > 20 社になった。

第 9 号審議議案「第 19 期 TKP 会場キャンセル料」審議【承認】

当件について事務局より説明があった。来年分の会場を予約した場合、予約して時点でキャンセル料が発生する。10 月以降、6 ヶ月分の会場をキャンセルした場合、約 23 万 8000 円のキャンセル料の支払いが生じる。

<キャンセルポリシー>

【原則】

仮予約申込み後、「総額」に対して適用。

利用日の 31 日前まで	10%
利用日の 30 日前～15 日前まで	50%
利用日の 14 日前～当日まで	100%

【PCSA 適用】

仮予約申込み後、「会議室使用料」に対して適用。

利用何日前かにかかわらず定価の 10%。（ただし、判明した時点で連絡する）

12 月 6 日までの連絡であれば来期のキャンセル料は不要。

<総会、理事会、研究部会の会議室使用料（概算）>

総会 1 回あたり	定価 35 万円、見積 28 万円（キャンセル料 3 万 5000 円）
理事会 1 回あたり	定価 8 万円、見積 6 万 4000 円（キャンセル料 8000 円）
研究部会 1 回あたり	定価 5 万円、見積 4 万円（キャンセル料 5000 円）
（10 月以降、6 ヶ月分キャンセルした場合のキャンセル料）	
総会キャンセル料	3 万 5000 円 ×2 = 7 万 0000 円
理事会キャンセル料	8000 円 ×6 = 4 万 8000 円
研究部会キャンセル料	5000 円 ×24 = 12 万 0000 円
合 計	23 万 8000 円

(参考)

年間総会会場費	112 万 0000 円
年間理事会会場費	76 万 8000 円
年間研究部会会場費	192 万 0000 円
合計	380 万 8000 円

<意見>

- ・キャンセル料が発生するが、その都度場所が変更になると混乱が生じる恐れがある。
- ・キャンセル料を払うのか。 > 本来、予約の時点でキャンセル料が生じるが、今回は来週までに通知したら無しでという事になっている。
- ・半年前に言えばいいのか？ > 本来は予約した時点で発生する。
- ・キャンセル料が発生するという事だが、どうするか？
- ・代表一任でどうか？

<審議>

議長：それでは、キャンセル料は発生してしまうが、このまま予約していてよいのか？

一同：異議なし。

第 10 号報告議案「政治分野アドバイザー（鈴木隼人議員 HP 非掲載依頼）」報告

当件について事務局より説明があった。鈴木隼人議員の秘書が PCSA に来訪し、ネットで叩かれてしまうので「政治分野アドバイザーは継続したいがホームページにアドバイザーとして掲載するのは止めてほしい」との要望を伺い掲載を止めている。

<意見>

- ・この件ではないが、来年 1 月の賀詞交歓会の非開催について連絡をして欲しい。
> 了解した。（事務局）

第 11 号報告議案「団体活動」報告

当件について事務局より説明があった。

1. 台風 19 号 警察庁の特別処置
2. 機構 新たな依存対策調査のお知らせ
3. 日工組 廃棄台の処理を早めに
4. 貯玉メダル残数を確認できるようになる 自工会
5. 社会貢献団体 設立
6. 遊技機取り扱い主任者 変更事項 日遊協
7. 依存防止対策 セットの送付 承諾書
8. 21 世紀会 事務局会議 業界における社会貢献の意義を再考する
9. 機構 臨時社員総会 開催
10. 21 世紀会 開催 依存対策要綱が完成した PCSA 案が通った 日遊協版と並立
11. 余暇進秋季セミナー 開催
12. 高射幸性遊技機の設置比率について 来年 1 月に 15%
13. 自己申告・家族申告プログラム 開始ホールに届出を促す
14. 機構調査に対して 確認シートの記入について

<意見>

- ・12 の高射幸性遊技機の設置比率については、全日遊連の理事会でも賛否があったようだ。日本全体で見ると設置比率は 15%以下だが、個社でいうと、ホール企業を M&A して、全体の 30%を高射幸性設置しようとする極端なホールが存在する。そこで、あえて、15%を提示した。全日遊連内でも非難はあった。新基準に対応している機械への交換が全然進んでいない。

その他

- ・三洋グループ 会長の金沢 要求様の訃報が届いた。訃報は月曜日に皆様に送っている。

次回開催

12 月拡大理事会

開催日：令和 1 年 12 月 19 日（木）

時間：午後 2 時 45 分～午後 3 時 45 分

場所：TKP 秋葉原カンファレンスセンター 7A

<同日 他スケジュール>

14：45～15：45 第 79 回遊技法研究会

16：00～17：30 12 月拡大理事会

17：45～19：15 忘年会

以上